

住民×企業×行政が本音で議論 肱川流域「共につくる防災」

「肱川流域タイムライン防災セッション」を開催します

- 平成 30 年 7 月豪雨で甚大な被害を受けた肱川流域では、復旧・復興の先にある「次の水害への備え」も進められ、令和 6 年 6 月までに堤防が完成、ダムの操作規則の変更により治水安全度は大きく向上しました。
- しかしながら、気候変動の影響で施設能力を超える洪水リスクは残っており、行政主導だけでは限界があります。
- そのため、本セッションでは、大洲市長をはじめ、住民、企業、行政の代表者が一堂に会し、「行政プラスα」の防災をどう実現するかを本音で議論します。
- 防災情報を「知っている」だけでなく、理解し、判断し、自ら行動できる力を流域全体でどう高めていくのか。行政任せにしない、住民・企業との連携による持続可能な防災モデルを共に描きます。

記

■ 開催概要

日時：令和 8 年 2 月 10 日(火)13:30～16:30

場所：大洲市総合福祉センター 4 階 多目的ホール
(愛媛県大洲市東大洲 270 番地の 1)

主催：国土交通省、愛媛県、大洲市

セッションに先立ち、当日午前中には、大洲市防災センターにおいて、「第 1 回 肱川流域(水防災)タイムライン運用部会」を開催し、今年度の出水期対応の振り返りおよび、来年度に向けたタイムラインの改善を行います。

(※令和 7 年 6 月の部会名称変更により、今回から「運用部会」として開催)

肱川流域タイムライン防災セッションについて：別添資料1のとおり

運用部会名簿：別添資料2のとおり

報道の皆様へ：別添資料3のとおり

本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災力向上プロジェクト】に該当します。

【問合せ先】

国土交通省 四国地方整備局 大洲河川国道事務所 Tel:0893-24-5188

副所長(河川)

たかしま
高島

やすのり
愛典(内線:204)

◎ 事業対策官

こうだ
郷田

まさひろ
正博(内線:208)

工務第一課長

こたに
小谷

せいじ
精司(内線:311)

◎:主な問い合わせ先

災害が発生した時、

自分の

命をどう守る？



みなさんも一緒に考えませんか？

肱川流域タイムライン防災セッション

～住民・企業・行政が連携した持続可能な防災活動を目指して～

日時

令和8年

2/10 (火)

13:30～16:30(13:00 開場)

入場無料(先着50名)

※どなたでも傍聴可能(事前申込不要)

場所

大洲市
総合福祉センター
4F 多目的ホール

主催

国土交通省
愛媛県・大洲市



肱川流域タイムライン防災セッション

～住民・企業・行政が連携した持続可能な防災活動を目指して～

平成30年7月豪雨で甚大な被害を受けた肱川流域では、「つなごう肱川プロジェクト」の一環として、令和元年より行政を中心とした防災タイムラインの検討を開始し、令和2年から暫定運用を進めてきました。ハード面では令和6年6月までに堤防が完成、ダム操作規則の変更により治水安全度が向上しました。

しかし、**気候変動の影響で施設能力を超える洪水リスクは残っており**、行政主導だけではどうしても限界があります。住民や企業の方に防災情報を理解してもらい、主体的に対応する力を高めていただくことが不可欠です。令和7年6月からタイムラインの本格運用に移行したことを踏まえ、今回「肱川流域タイムライン防災セッション」を開催し、大洲市長と住民・企業・行政の代表者が一緒になって、**行政プラスαの持続可能な防災活動**を共に考えます。



コーディネーター

東京大学大学院
情報学環総合防災情報研究センター
客員教授

松尾 一郎 氏

命を守る未来を築くため、日本全国で活動を続けるタイムライン防災の第一人者



行政代表

・大洲市

市長

二宮 隆久 氏

・国土交通省 大洲河川国道事務所
・国土交通省 肱川ダム統合管理事務所
・愛媛県

住民代表

・大洲市新谷地区自主防災組織
・肱川流域会議 水中めがね
・大洲市地域おこし協力隊

企業代表

・大洲青年会議所
・肱川流域の環境と治水を考える
住民ネットワーク

第1部

肱川流域(水防災)タイムライン

今までの歩みとこれからの展望

1. 開会

2. 肱川流域(水防災)タイムライン これまでの取組

大洲河川国道事務所

3. 基調講演「命を守るタイムライン」

東京大学大学院
情報学環総合防災情報研究センター
客員教授 **松尾一郎 氏**

4. 話題提供「紀宝町での取組紹介」

三重県紀宝町 防災対策課
課長 **堀 勝之 氏**

第2部

住民・企業・行政によるトークセッション

～肱川流域の住民・企業・行政が一体となった

持続可能な防災活動を目指して～



(資料2)

肱川流域（水防災）タイムライン運用部会 名簿

区分	所属	氏名
部会長	東京大学大学院情報学環 総合防災情報研究センター 客員教授	松尾 一郎
アドバイザー (気象防災担当)	NPO 環境防災総合政策研究機構 理事	村中 明

参加機関

大洲市
大洲地区広域消防事務組合 消防本部
大洲市消防団
西予市
西予市消防本部
西予市消防団
内子町
内子町消防団
愛媛県 南予地方局 八幡浜支局
愛媛県 南予地方局 大洲土木事務所
愛媛県 南予地方局 西予土木事務所
愛媛県警察 大洲警察署
愛媛県警察 西予警察署
気象庁 松山地方気象台
四国地方整備局 大洲河川国道事務所
四国地方整備局 山鳥坂ダム工事事務所
四国地方整備局 肱川ダム統合管理事務所

オブザーバー

愛媛県県民環境部防災局防災危機管理課
四国旅客鉄道株式会社 工務部工事課

「肱川流域（水防災）タイムライン運用部会」および
「肱川流域タイムライン防災セッション」の開催について
(報道の皆様へ)

取材を希望される方は、「取材申込書」に必要事項を記入の上、下記メールアドレス宛にお申し込みください。

当日は開催の10分前までに会場入口にて受付を行ってください。スペースが限られているため、机や椅子が不足する場合がありますが、ご理解のほど、よろしくお祈いします。

四国地方整備局 大洲河川国道事務所 宛

E-mail : skr-oozuka40@mlit.go.jp

申込期限：2/9（月）12時

「肱川流域（水防災）タイムライン運用部会」および
「肱川流域タイムライン防災セッション」
取材申込書

取材される項目に <input checked="" type="checkbox"/> をお付けください	<input type="checkbox"/> ①肱川流域（水防災）タイムライン運用部会 2月10日（火）10:00~11:00 大洲市防災センター（大洲市若宮 1869 番地の1） <input type="checkbox"/> ②肱川流域タイムライン防災セッション 2月10日（火）13:30~16:30 大洲市総合福祉センター4F 多目的ホール （大洲市東大洲 270 番地の1）
御社名	
取材者役職・氏名（ふりがな）	
連絡先（電話番号）	
連絡先（メールアドレス）	